

ユーロ 7 とは、

欧州連合(EU)が定める自動車の排ガス規制の最新基準のことです。より厳格な基準を設け、自動車から排出される有害物質を削減し、大気汚染の改善や気候変動対策を目的としています。

詳細:

- **目的:**

自動車から排出される汚染物質(CO、HC、NOx、粒子状物質など)をさらに削減し、大気汚染を改善すること。

- **対象:**

乗用車、バン、バス、トラックなど、すべての種類の車両。

- **主な変更点:**

- **規制対象の拡大:**従来は大型車のみが対象だったアンモニアやホルムアルデヒド、亜酸化窒素なども規制対象に追加。
- **ブレーキダストやタイヤ摩耗による粒子状物質の規制:**従来の排ガスだけでなく、ブレーキやタイヤの摩耗によって発生する粒子状物質も規制対象。
- **バッテリーの耐久性要件:**電気自動車やプラグインハイブリッド車のバッテリーの耐久性に関する要件が追加。
- **より厳しい走行距離・耐用年数要件:**規制に適合しなければならない走行距離や期間が延長され、乗用車・バンでは現行規則の倍となる走行距離 20 万キロ、販売から 10 年まで。
- **リアルタイムの排出量測定:**車載モニターからのデータを用いて、加盟国の管轄当局が排出量の適合性を監視。

- **適用時期:**

乗用車とバンは 2025 年 7 月から、大型車は 2027 年 7 月からとされています。

- **影響:**

自動車メーカーは、より厳しい基準を満たすために、開発費や生産コストの増加、技術的な課題に直面する可能性があります。

- **背景:**

2035 年までに EU 域内で販売される新車をゼロエミッション車(電気自動車など)にするという目標に向けて、ユーロ 7 は重要な政策の一つと位置づけられています。

ユーロ 7 は、自動車の環境性能を向上させ、よりクリーンな社会の実現を目指すための重要な取り組みと言えます。